



2026 年 7 月 24 日

各 位

会 社 名 K P P グループホールディングス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 兼 CEO 坂田 保之
(コード番号：9274 東証プライム)
問 合 せ 先 グループ財務企画本部長 足立 章之郎
(TEL. 03-3542-9925)

日本におけるビジュアルコミュニケーション事業への本格展開に関するお知らせ ～当社連結子会社による中外写真薬品株式会社の株式取得（孫会社化）～

当社連結子会社である国際紙パルプ商事株式会社（所在地：東京都中央区）は、ビジュアルコミュニケーション事業として印刷用メディア等関連資材の販売および写真関連事業を営む中外写真薬品株式会社（所在地：東京都墨田区 以下、「中外写真薬品社」という。）の全株式を取得することについて株式譲渡契約を締結いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 株式取得の理由

当社は、2028 年 3 月期を最終年度とする第 4 次中期経営計画の事業戦略として事業ポートフォリオの変革を実行しています。中外写真薬品社及びその子会社は、日本国内において、ビジュアルコミュニケーション関連資材（インクジェットメディア・プリンター等のハードウェア・インクなど）の販売等を手掛けています。また、写真関連事業では写真薬品の製造やフォトグッズの販売に加え、150 年近い歴史を誇る世界の写真業界を代表するブランドである「ILFORD（イルフォード）」の商標権を有するイルフォードイメージングヨーロッパ社の株式 50%を保有し、日本を含むアジア及び欧州で同ブランドのファインアート紙、写真用フィルム等の販売をしています。

本件株式取得は、当社の事業領域拡大戦略に基づくものであり、北東アジアセグメント（日本）におけるビジュアルコミュニケーション事業の本格展開を推進するものとなります。当社グループが有する顧客基盤・グローバルネットワークと、中外写真薬品社のビジュアルコミュニケーション事業における商品ラインナップを組み合わせることで、未開拓顧客への提案機会拡大、高付加価値製品・サービスの提供による収益性の向上、更には調達におけるグローバルシナジーの強化を実現します。

当社は、北東アジアセグメントにおける、ビジュアルコミュニケーション事業を新たな収益源として位置付け、積極的に同事業を拡充することにより中長期的な企業価値向上を図ってまいります。

2. 異動する会社の概要

(1)	名 称	中外写真薬品株式会社 他グループ会社 6 社
(2)	所 在 地	東京都墨田区業平 2-19-1
(3)	代 表 者 の 氏 名	新藤 桂市
(4)	事 業 内 容	写真薬品、印刷用メディアとしてのインクジェット紙の製造、大判プリンターや写真機器、インクの販売等
(5)	設 立 年 月	1948 年 10 月

3. 日程

株式取得予定日：2026 年 8 月 24 日

4. 今後の見通し

現在、取得資産および負債の時価の算定を進めており、企業結合会計に伴う影響額が未確定のため、今期連結業績に与える影響は現在精査中であります。今後開示すべき事項が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。

本件は、北東アジアセグメント（日本）におけるビジュアルコミュニケーション事業への本格参入であり、事業領域の拡大および事業ポートフォリオの変革の観点から、当社グループの企業価値向上に資するものと考えております。

以 上